

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード 5-1-3		事業名 伝統文化保存伝承事業		
担当 観光文化局文化部文化財課 内田 桃子 TEL 011-211-2312				
全体計画				
事業内容	伝統文化等の保存伝承活動を行う団体に対して、事業費補助等の支援を行う。 1 札幌市無形文化財丘珠獅子舞保存会 (補助対象事業:丘珠獅子舞保存伝承事業) 市指定無形文化財である丘珠獅子舞の修練に努め、次世代に正しく伝承することを目的とし、保存伝承活動を行い、また、全国の団体と文化交流を図っている。 2 アンリチェップノミ実行委員会 (補助対象事業:アンリチェップノミ保存伝承事業) アイヌ民族の伝統文化であるアンリチェップノミ(新しい鮭を迎える儀式)を通じて、アイヌ民族文化の理解を深めるとともに、その豊かな知恵と伝統を保存・伝承するため、アイヌ民族の伝統的儀式を再現している。		<年度別の事業内容>	
			平成19年度～平成22年度 1 丘珠獅子舞保存伝承事業補助金の交付 2 アンリチェップノミ保存伝承事業補助金の交付	
事業内容	平成 19 年度 事業内容 (決算)		平成 20 年度 事業内容 (決算)	
	伝統文化等の保存伝承活動を行う団体に対し、補助金交付による支援を行った。 1 札幌市無形文化財丘珠獅子舞保存会への補助金交付(450千円) 補助対象事業:丘珠獅子舞保存伝承事業(市指定無形文化財である丘珠獅子舞) 2 アンリチェップノミ実行委員会への補助金交付(800千円) 補助対象事業:アンリチェップノミ保存伝承事業(国指定重要無形民俗文化財であるアイヌ古式舞踊)		伝統文化等の保存伝承活動を行う団体に対し、補助金交付による支援を行った。 1 札幌市無形文化財丘珠獅子舞保存会への補助金交付(450千円) 補助対象事業:丘珠獅子舞保存伝承事業(市指定無形文化財である丘珠獅子舞) 2 アンリチェップノミ実行委員会への補助金交付(800千円) 補助対象事業:アンリチェップノミ保存伝承事業(国指定重要無形民俗文化財であるアイヌ古式舞踊)	
場所	平成 21 年度 事業内容 (決算)		平成 22 年度 事業内容 (予算)	
	伝統文化等の保存伝承活動を行う団体に対し、補助金交付による支援を行った。 1 札幌市無形文化財丘珠獅子舞保存会への補助金交付(324千円) 補助対象事業:丘珠獅子舞保存伝承事業(市指定無形文化財である丘珠獅子舞) 2 アンリチェップノミ実行委員会への補助金交付(800千円) 補助対象事業:アンリチェップノミ保存伝承事業(国指定重要無形民俗文化財であるアイヌ古式舞踊)		伝統文化等の保存伝承活動を行う団体に対し、補助金交付による支援を行う。 1 札幌市無形文化財丘珠獅子舞保存会への補助金交付(450千円) 補助対象事業:丘珠獅子舞保存伝承事業(市指定無形文化財である丘珠獅子舞) 2 アンリチェップノミ実行委員会への補助金交付(800千円) 補助対象事業:アンリチェップノミ保存伝承事業(国指定重要無形民俗文化財であるアイヌ古式舞踊)	
規模				
件数				
等				

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	5-1-3		事業名	伝統文化保存伝承事業			
達成目標の状況							
項 目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)	
補助対象活動数	2件	2件	2件	2件	2件	2件	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 本事業実施により、伝統文化にゆかりのある市民等がその保存伝承活動に継続して取り組んでいくことが可能となり、市民活力や伝統文化に対する保護思想の向上に寄与している。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力](該当なし) [情報協力](該当なし) [その他の協力](該当なし)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 伝統文化保存伝承の支援を目的とした本事業を実施し、また、ホームページ等での情報発信を通じて、市民等が伝統文化に参加・鑑賞できる機会の創出に繋げている。</p>							
評 価 (成 果)			課 題				
<p>平成19年度の伝統文化の見学者・参加者については、例年多数の参加が見込まれる丘珠獅子舞の奉納日が雨天だった影響もあり、前年度の約半数となったが(丘珠獅子舞参加者:平成18年度2,000人、平成19年度1,000人、アシリチェップノミ参加者:平成18年度300人、平成19年度291人)、平成20年度は再び2,000人代を記録し(丘珠獅子舞参加者:平成20年度2,000人、アシリチェップノミ参加者:平成20年度314人)、平成21年度についても参加者は2,000人を超えている(丘珠獅子舞参加者:2,000人、アシリチェップノミ参加者:304人)。</p> <p>今後も後継者の育成や市民等の参加・鑑賞機会の充実のため、保存団体に対する支援を継続する必要がある。</p>			<p>伝統文化の保存に努める団体の活動を継続発展させるため、広く市民等に事業の周知を図り、保存伝承の気運をより一層高めていく必要がある。</p>				
今 後 の 事 業 の 予 定 ・ 方 向							
保存団体による自主的な事業実施に支障が生じないよう、引き続き補助金交付による財政支援を図る。							

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		5-1-3			事業名	伝統文化保存伝承事業				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	—	—	—	—	—				
	財源内訳									
	国・道支出金									
	市の債									
予算	事業費	1,250	1,250	1,250	1,250	5,000				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0	0	0				
	市の債	0	0	0	0	0				
実績	事業費	1,250	1,250	1,124	—	3,624				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0		0				
	市の債	0	0	0		0				
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費) / (計画事業費)					—			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
《全体》										
[19年度]										
[20年度]										
[21年度]										
[22年度]										